

有限会社京寿司

◎ 飲食店



出前サービスで、冠婚葬祭のシーンに合わせた寿司を提供する

長崎市内で寿司屋と聞かれて、真っ先に名前が挙がるのは創業41年の京寿司だ。海に囲まれた土地ならではの新鮮な魚介類を提供するだけでなく、法事や祝事などの様々なシーンに合わせた出前サービスを行うことで知られている。核家族化が進み、親族が集まる場が減りつつある現代だからこそ、大切な人との大切な時間を彩る料理の提供に力を入れている。冠婚葬祭を執り行う地域の企業グループと契約し、売上も順調に伸ばしている。

高い知名度の背景には、豊富な出前メニューと地道な顧客管理

創業41年を迎える京寿司。創業当時はスーパーの中にある6畳程度の小さな店であった。数回の移転を経て、現在は長崎駅から路面電車に揺られること20分、若葉町駅から徒歩10分の昭和通り沿いに店を構えている。商店街からはやや外れ、店舗としては決して好立地とは言えないが、1986年の2度目の移転をきっかけに

法事や祝い事などの出前サービスを開始することで売上を順調に伸ばした。現在は、売上の8割を出前が占めるほどである。

また、1986年からパソコンを導入し、顧客管理を行ったり、当時としてはまだ珍しい料理の写真を掲載したメニューを作成したりと、地域の人たちに地道な宣伝を行った。その結果、今では地元長崎において高い知名度を誇るようになったという。

地域の葬儀場と連携することで、新規顧客を開拓

2014年に創業者である父親から経営を引き継いだ二代目の西本さんは、学生時代から父親の手伝いをしてきた。そんな西本さんは、少子化や核家族化の影響から法事や祝い事で親族が

集まる機会が減ってきているのを肌で感じている。

「以前は（1件あたり）40人前から50人前は注文がありましたが、今では多くても20人前がいいところです」と西本さんは言う。

売上の核となっていた出前サービスは、時代の変化により減少傾向にあるため、西本さんは

地域との連携と細やかなサービスが 新たなリピーターを生む



様々な施策を打ち出している。

たとえば二代目を引き継いですぐに、長崎県内で冠婚葬祭を執り行う企業グループとの事業連携を開始した。これにより複数の葬儀場へ通夜料理を運ぶようになった。通夜料理を通して京寿司を知った新規顧客が、法事や祝い事に再び利用するという好循環も生まれている。今後も葬儀場との契約店舗を増やすことで、更なる顧客開拓を見込んでいるという。

また、現在は1つの店舗内で店舗用の料理と

出前サービス用の料理を作っているが、今後は、店舗と出前サービスを

完全に切り分け、効率化を図ることを考えているという。具体的には、現在の店舗は出前サービス専用にし、通常店舗は新規に構える予定だという。新しい店舗は繁華街など、観光客が訪れやすい立地に構えたいと考えている。

柔軟なサービスを提供し、 広い客層に対応

寿司屋にしては珍しく、飲み放題のプランを設定したり、記念日の飲食物持ち込みを可能にしたりするなど、柔軟な対応を行っている。子供客にはキャラクターの寿司を振舞い、出前サービスのメニューも寿司盛り、精進料理、鉢盛

り、ちらし、井、パック料理、船盛りなど、非常に豊富だ。配達範囲も広げ、車で1時間の距離まで配達することで、広い地域に京寿司の料理を楽しんでもらいたいと考えている。

年間の行事にも積極的に対応し、年末年始のおせちや節分の恵方巻の注文は後を絶たないという。また、帰省ラッシュのお盆の時期には大量の注文が入り大忙しだ。

気配りや心遣いが料理と人を繋ぐ

出前を始めた頃から送っているダイレクトメールは毎週50通～100通にもものぼるが、初代が自筆で宛名を書いている。その味のある文字には不思議な温かみを感じられる。ダイレクト

メールを見た人から「この字を見てこの店に決めた」と言われたこともあるそうだ。人との繋がりが希薄になっている時代だからこそ、こういった心遣いに喜ぶ人が多いという。初代から続く細やかな心遣いが、料理やサービスに表れているのだ。

今後はインバウンド対応と 若手の育成

海外からの観光客が増加傾向にある中、少ないながらも外国人観光客も訪れるようになってきている。今はアルバイトの学生が英語での対応なども行っているが、これから店舗を訪れる

外国人観光客を増やすためには、ホームページ上での英語メニューの作成も視野に入れているという。

今は、店舗の運営と出前サービスへの対応で精いっぱいだという西本さん。店舗の切り分けや通夜料理の契約数増加に向けて、会社として若手を育成することが急務だ。

● Profile

有限会社京寿司

代表取締役 西本 貴之 (にしもと たかゆき)

所在地 長崎県長崎市昭和1-10-5

創業 1975年

従業員数 18人(うちパート・アルバイト15人)



代表取締役 西本 貴之さん